

巻頭言

令和6年1月1日年明け早々の夕方、能登半島地震が発生しました。そして、今現在も懸命な復興支援が行われています。この地震災害により被災された多くの方に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

未曾有の災害からの復興は、その体験と記憶から学び、新たな知識と教訓による地域づくりです。その実現に必要なことは、「国民一人一人がその生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる社会づくり」であり、それはまさに「生涯学習」であると考えます。

本県は、「生涯学習」の取組みとして、令和4年3月に策定した「千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～」では、県民誰もが必要に応じて学習できる多様な学びの場の充実や社会を支える人材として必要な知識等の学び直しの支援により、生涯にわたり活躍できる場づくりを推進することとし、令和5年5月には、生涯学習推進の方向性を示す「千葉県生涯学習推進方針」を定め、県民一人一人が、いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その成果を生かして活躍できる生涯学習社会の実現を図ることとしています。

そこで、推進方針等における当所の担う役割である「多様な学習状況の提供」と「社会での活躍につながる学習相談」の一体的運用を行う『学びの総合窓口』を令和6年5月から新たに開設することとし、対話を通じた要望の正確な把握により、個々に適した学習機会などを総合的に案内する体制を整え、県生涯学習センターとしての機能を更に充実し、新しい時代に合った生涯学習社会の実現に努めてまいります。

結びに、この研究紀要作成に当たり、調査に御協力いただきました市町村教育委員会をはじめ、関係機関各位に対し、厚く御礼申し上げます。

令和6年3月

さわやかちば県民プラザ
所長 西原 正男

